

第29回 オートサービスショー2003

「地球にやさしく環境整備に挑戦」

|新たな
|ビジネスチャンス求めて
|期間中
|6万8千人が来場



第29回オートサービスショー2003が平成15年6月20日(金)～22日(日)の計3日間、東京国際展示場「東京ビッグサイト」で行われた。

自動車整備検査機器、工具、車体整備機器、塗装機器、洗車洗浄機器及び関連機器といった我々になじみ深く、また整備業界の方向性が色濃く出たいへん重要な展示会である。

その中で今回特に目を引いたのが、各社が提唱する「車検サービス商品」の充実である。

株式会社バンザイの「らくらく車検工房」、株式会社イヤサカの「スーパー車検館」、株式会社アルティアの「車検壱番館」等、ユーザー立ち会いでの短時間車検システムが多数展示されていた。

これらはユーザーニーズの変化に対応すると

共に、現在各ディーラーが行っているサービスとの差別化を図るため、色々なアイデアが施されていた。

また、リペアやカスタマイズ等、美装に関する商品や顧客の個性に訴える新しいビジネスチャンスを各社が提唱していた。

ユーザーの傾向が、「車を長く乗る」というものになってきている現在、自動車のメンテナンスは整備に留まらなくなってきているようだ。

オートサービスショーはユーザーの心理動向を探るに留まらず、新しいビジネスチャンスを獲得する絶好の機会であると実感できるものであった。



日整連も一般ユーザーに点検整備の大切さをアピールしていた



(株)アルティアの車検壱番館



(株)バンザイのユーザー立ち会い車検ブース



(株)イヤサカのスーパー車検館



(株)翼システムの新商品「リニューカー」



顧客管理もカードを使ったIT化が進んでいる

会場はビジネスチャンスを求める人々であふれていた



塩沢会長も来場、自動車整備・工具業界の動向を視察していた



ホイールアライメントテスターの説明を受ける塩沢会長。調整もこれからの整備業の貴重な収入源だ